

岩手県沖合におけるマダラの加入特性	
ねらい	岩手県では、マダラは沿岸漁船漁業の重要な対象資源となっている。一方で、本海域のマダラ資源は周期的な増減を繰り返していることが指摘されている。資源管理を行うためには、資源変動を考慮に入れた管理手法を見いだす必要があるが、そのメカニズムは明らかになっていない。そこで、本研究は岩手県沖合におけるマダラの加入特性を明らかにすることを目的として行った。
成果の特徴	岩手県沖合に分布するマダラについて、加入の特性を推定した結果、加入資源は 1998 年級群と 2002 年級群が高い水準にあると推定された。体サイズとの比較から、本海域のマダラ資源は加入水準に呼応した密度依存的な成長特性を示すと考えられた。また、加入資源水準は、親魚量水準だけでなく、浮遊期間の 2～5 月における沿岸域の水温変動にも依存して変動することが示唆された。
成果の活用	親魚量水準と水温の情報に基づいた加入資源水準の推定を行うことにより、本海域における漁況予測への活用が期待される。 今後、マダラの初期生活史における水温と生残に関する知見の集積が期待される。

〔具体的データ〕

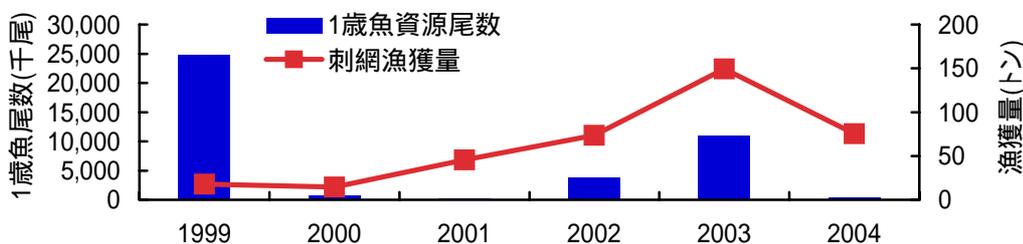


図1 面積－密度法によって推定されたマダラ1歳魚資源尾数（漁獲効率1とする）と岩手県における刺網による漁獲量の推移

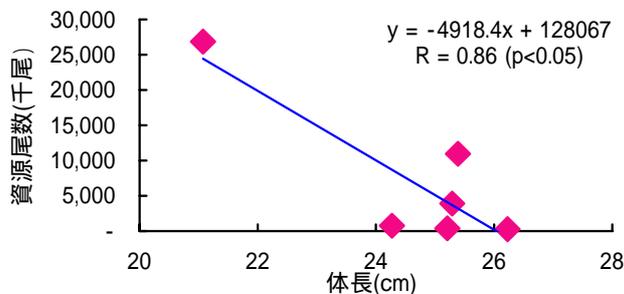


図2 現存量推定調査から得られたマダラ 1 歳魚の平均体長と資源尾数の関係

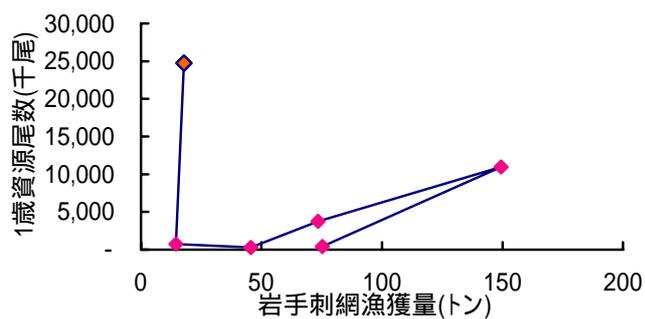


図3 刺網漁獲量と現存量推定調査から得られた翌年の1歳魚資源尾数の関係

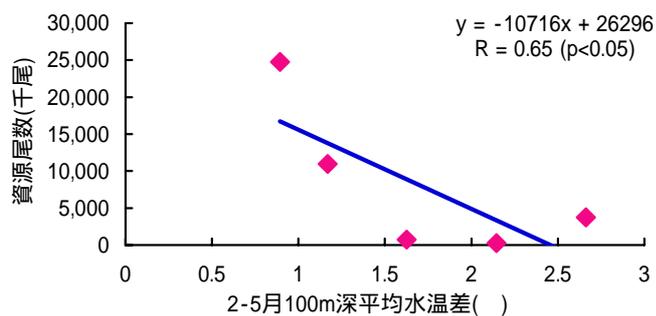


図4 岩手県沖合10海里以内の100m深における2～5月の水温差と現存量推定調査から得られた翌年の1歳魚資源尾数の関係

担当者	漁業資源部 後藤主任専門研究員	0193-26-7915 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号	
	ホームページ <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/">http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/</a>	